

UNEP

受粉に役立つ生物を守るプロジェクトがスタート

ミツバチやコウモリ、鳥など、農作物の受粉を助け、世界の食糧生産に欠かせない生物を守る新しいプロジェクトが発表されました。このユニークなプロジェクトは、5年間の計画で、UNEPを通じて実施されます。

この数カ月間、ミツバチなど重要な授粉生物の減少や衰退が、科学専門誌やニュースで報じられています。病気、農薬の使用、生息地の喪失や減少、モノカルチャー化、外来種の導入などが、こうした生物への大きな脅威となっていると考えられます。鳥やハチ、チョウなどの授粉生物は、食糧生産に欠かせず、世界の作物の35%に影響を及ぼしていると考えられています。

今回のプロジェクトでは、(1)授粉生物の保全と持続可能な利用のためのツールや方法論、戦略などの開発と実施、(2)授粉生物の個体数の減少を緩和し、持続可能な管理方法を確立するための計画の構築、(3)授粉生物の保全及び持続可能な利用に関する国際的な活動の促進などに取り組んでいく予定です。

イギリス

自然資源監査をスタート

イギリス環境・食糧・農村地域省は7月21日、イングランドの野生生物、生息地及びエコシステム等、自然資源に関する大々的な情報収集プロジェクト「自然資源監査」を開始しました。2年間のプロジェクトではさまざまな機関の関係者の知見を活用し、あらゆる情報と現行の研究成果を集積します。イングランドの自然環境と、それが社会にもたらす恩恵、その変化などについて、これまでで最も包括的な情報を提供するものと期待され、この結果は生物多様性や自然環境の強化、被害の回避に関する国の施策の優先順位付けに反映される予定です。ヒラリー・ベン環境大臣は、「重要なのは、ナチュラル・イングランド、森林委員会、環境庁などさまざまな関係機関との幅広い連携である」とコメントしました。

UNEP

公共輸送と気候変動に関する広告が受賞

国連環境計画（UNEP）と公共交通国際連合（UITP）の制作したテレビ広告キャンペーンが、欧州広告代理店協会（EACA）のCARE賞を受賞しました。CARE賞は、本年、初めて導入された賞で、資源や環境への配慮を促す、最も成功したクリエイティブなソーシャル・マーケティング・キャンペーンに贈られます。UNEPとUITPの作品は、「NPO及び非政府組織」部門で受賞しました。

受賞作品は、6歳の女の子の意見として、子供の絵と声で、移動手段の選択が地球に及ぼす影響を伝えようというもの。現在約20カ国語のバージョンが作られており、BBCワールドやCNN、ブルームバーグなどで放映されています。

ノルウェー

音楽フェスが気候ニュートラルネットワークに参加

UNEPの気候ニュートラルネットワーク（CN Net）は、CO₂排出量を削減し、できる限りゼロに近づけることを目指す取り組みです。この夏、ノルウェーで開催される2つのミュージックフェスティバルが、音楽祭として初めてCN Netに参加しました。

今回、CN Netに参加したのは、ロックフェスティバルのホープ・フェスティバルと、チャンネル・ストリートジャズ&ブルースフェスティバル。ベック、ダフィー、ジェイ・Zなどが出演するホープ・フェスティバルでは、中国で実施されるクリーン開発メカニズム（CDM）事業を支援することで、カーボンオフセットを実施。携帯電話用ソーラー充電器、電気ゴルフカート、風力発電やソーラー発電によるLED照明なども導入されました。

ジョン・メイオール&ブルースプレイカーズ、ザ・ウォーターボーイズなどが出演するチャンネル・ストリートジャズ&ブルースフェスティバルでも、さまざまな環境対策が実施されました。

EU

スペイン・サラゴサ万博で、「水」に関する会議開催

スペイン・サラゴサ万博で、水をより効率的に利用する方法をテーマに会議が行われました。

この会議は、欧州委員会が2007年7月に提出した、水不足と干ばつに関する協議文書を受けて行われたもの。欧州委員会は、EU内で、技術の改善により約40%、水利用の効率を改善することができ、さらに、行動を変えることで一層の改善が見込めるという研究成果を公表しています。協議文書では水利用の効率化と節水のための政策オプションが示されていますが、重要なポイントは、水源のいずれを問わず、水の使用に適正な価格を設けることです。

今回の会議には、EUや各国の水政策担当者、NGO、企業等の関係者が参加。その結果は今年末に公表される報告書に反映されます。